
StartPack

操作説明書

DHT 1 1 2

(V1. 14)

第 14 版

2013.3.1



目 次

1. はじめに	1
1-1. はじめに	1
1-2. 動作機種	1
1-3. 注意事項	1
2. 基本操作	2
3. 初期設定	3
4. 収集処理	4
4-1. メニュー	4
4-2. データ入力	5
4-3. データ送信	6
4-4. データ消去	8
4-5. 設定	9
4-5-1. ブザー設定	10
4-5-2. 項目設定	11
4-6. ファイル仕様	15
4-6-1. ファイル名	15
4-6-2. データファイルフォーマット	15
4-7. システム時計設定	16
4-8. ID設定	17
5. 検品処理	18
5-1. メニュー	18
5-2. 1対1 一致チェック	19
5-3. 1対n 一致チェック	20
5-4. 設定	21
5-4-1. ブザー設定	22
5-4-2. 項目設定	23
5-5. ファイル仕様	28
5-5-1. ファイル名	28
5-5-2. データファイルフォーマット	28
5-6. システム時計設定	29
6. 読取処理	30
7. システム構成	31
8. その他（機能、メッセージ）	32
9. 注意事項	33
10. 通信ソフトのインストール	34
10-1. 通信ソフトのインストール	34
10-2. 通信ソフトの設定	36
11. 通信ソフトの操作	37
11-1. データ受信	37

1. はじめに

1-1. はじめに

「StartPack」をご購入いただきましてまことにありがとうございます。「StartPack」はハンディターミナルDHT112用の収集・検品・読取アプリケーションです。本製品をご使用になれる前に、必ず本書をお読みください。

「StartPack」はハンディターミナルDHT-112にインストールされた状態で出荷されます。

【収集】

バーコードを読み取り、読み取ったデータを収集し、収集されたデータをPCへ送信します。

【検品】

バーコードとバーコードの一致チェックを行い、結果を画面にOK/NGで表示します。

※設定により検品ログデータの収集も行います。

【読取】

バーコードを読み取り、読み取ったデータを画面に表示します。

※データの収集は行いません。

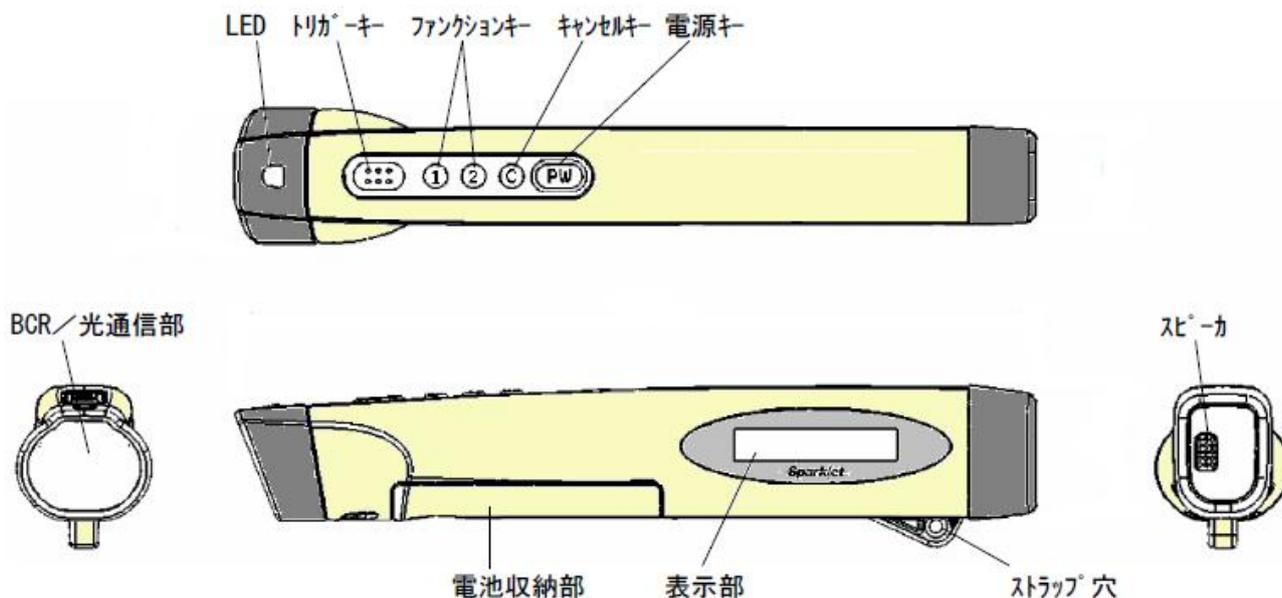
1-2. 動作機種

- ハンディターミナル DHT-112S/Y

1-3. 注意事項

- 収集処理をご使用になる場合、通信ユニット・通信ケーブルが別途必要です。
- 本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載・複製することを禁止します。
- 本書の内容につきましては万全を期して作成いたしました。が、万一不審な点や誤りなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 本書および本製品の仕様は、将来予告なく変更することがあります。
- 本書および本製品による損害、不利益などにつきましては、弊社では一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書をお読みになった後も、必ず本書を保存してください。

2. 基本操作



- (2) トリガキー：押し続けている間レーザー光を照射しバーコードの読み取りを行います。トリガキーを押すと最大で6秒間レーザーを照射します。バーコードを正常に読み取るとピッとブザー音が鳴りレーザーの照射が止まります。6秒間たってもバーコードを読み取らなかった場合、レーザーの照射が停止します。再度トリガキーを押すとレーザー光が照射されバーコードの読み取りを開始します。
- (3) ファンクションキー：処理の切り換えや終了、選択に使用します。ファンクションキーの操作には **通常押し** と **長押し（1秒以上押し）** があります。本書では通常押しを「1キー」「2キー」、長押しを「1Lキー」「2Lキー」と表します。
- (4) 自動電源オフ：約10分間にも操作を行わなかった場合、自動的に電源をオフにします。再度電源をオンにした場合、オフされた画面からスタートします。電源キーを押して電源をオフした場合は、各処理の先頭からスタートします。
- (5) ブザー：電池の残容量が少なくなると自動的にブザー音を小さくします。

※青のCキーは本アプリケーションでは使用しません。

- (6) バーコードの読み取り操作：



レーザー光がバーコード全体を横切るように

- ・読み取り口をバーコードに近づけ、トリガキーを押します。レーザーが発光し、読み取りを開始します。
- ・バーコードの端から端をレーザー光が完全に横切るように、バーコードと読み取り口の距離を調整して下さい。
- ・正常に読み取ると「ピッ」とブザーが鳴り、レーザー光が消えます。
- ・約6秒間読み取りが出来なかった場合、自動的にレーザー光が消えます。

3. 初期設定

(1) 電源オン



- 電源キーを画面が表示されるまで押し、電源をオンにします。時計、バージョンを2秒間表示し、【(2)処理選択画面】へ移ります。

YYYY/MM/DD [999]
99:99:99 SPx. xx

- バージョン表示画面

画面1行目は、システム時計の日付とハンディIDの表示です。
画面2行目は、システム時計の時刻とバージョンの表示です。

(2) 処理選択画面



- 処理の選択設定です。

1 キー、 2 キーで選択(反転表示)し、 トリガ キーを押します。

収集処理・・・バーコードを読み取り、データを収集し、PCへ送信します。

検品処理・・・バーコードとバーコードの一致をチェックします。

読取処理・・・バーコードを読み取り、データを画面表示します。

※一度処理を選択すると、次回電源オンからは処理選択画面は表示されず直接選択されている処理の画面へ移動します。
処理を変更される場合は各処理の画面で 1 キーを1秒以上長押しします。

4. 収集処理

4-1. メニュー

(1) メニュー画面

入力 送信 消去

● 作業の選択です。

[1]キー、[2]キーで選択(反転表示)し、[トリガ]キーを押します。

入力・・・「データ入力」へ移ります。

送信・・・「データ送信」へ移ります。

消去・・・「データ消去」へ移ります。

[2]キー:1秒以上長押しすると「設定」へ移ります。

<初期設定値>

※インストール後は下記入力条件に初期設定されます。変更される場合は「設定」を選択し変更して下さい。
※設定を変更された場合は、必ず設定変更内容を控えて下さい。

最小桁数	1桁
最大桁数	60桁
タイプ	英数字
バーコード	NW-7(CODARBAR), CODE39, CODE128
2度読みチェック	しない
日付付加	なし
時刻付加	なし
ID付加	なし
ファイルタイプ	TXT
データ表示	前
データ消去	手動

PCへデータを送信するため、PCへ通信ソフトのインストールが必要です。
また通信を行うためには、ハンディターミナル本体以外に通信ユニットと通信ケーブルが必要です。
※通信ソフトは通信ユニットに付属されています。

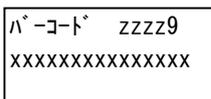
4-2. データ入力

(1) メニュー画面



- 「入力」を選択し、**トリガ** キーを押します。【(2)データ入力画面】へ移ります。

(2) データ入力画面



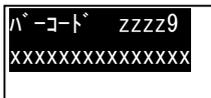
- データの入力です。

トリガ キーを押しバーコードを読み取ります。

- 1** キー: 1秒以上長押しすると【(1)メニュー画面】に戻ります。
- 2** キー: 1秒以上長押しすると【(3)データ参照画面】へ移ります。

※画面1行目右 zzzz9 は、入力データ数のカウント表示です。
※画面2行目は、直前に入力されたデータの表示です。

(3) データ参照画面



- 入力済みデータの参照表示です。

入力済みデータを最新のデータより順次画面に参照表示します。

- 1** キー: 一つ前のデータを表示します。
- 2** キー: 次のデータを表示します。
- 1** キー: 1秒以上長押しすると【(2)データ入力画面】に戻ります。
- 2** キー: 1秒以上長押しすると現在表示データを削除(スペース埋め)します。

※画面1行目右 zzzz9 は、入力データ数のカウント表示です。
※画面2行目は、データの表示です。

4-3. データ送信

(1) メニュー画面



- PC側を受信可能な状態にし、ハンディターミナルを通信ユニットにセットします。「送信」を選択し、**トリガ**キーを押します。【(2)送信中画面】へ移ります。

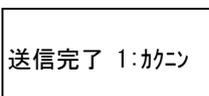
(2) 送信中画面



- データをPCへ送信しています。

データの送信が正常に完了すると【(3)送信完了画面】へ移ります。
エラーが発生した場合は、【(6)送信エラー確認画面】へ移ります。

(3) 送信完了画面

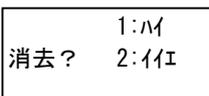


- データ送信完了の確認です。

PCへのデータ送信が正常に完了しました。**1**キーを押します。【(4)消去実行確認画面】へ移ります。

1キー:【(4)消去実行確認画面】へ移ります。

(4) 消去実行確認画面



- 送信済みデータの消去確認です。

データを消去する場合、**1**キーを押します。【(5)データ消去画面】へ移ります。

1キー:【(5)データ消去画面】へ移ります。

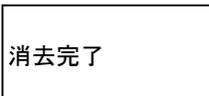
2キー:データを保留したまま【(1)メニュー画面】に戻ります。

(5) データ消去画面



- 送信済みデータを消去します。

送信済みデータを消去します。消去が完了すると【(1)メニュー画面】に戻ります。



(6) 送信エラー確認画面

送信エラー 1:カニン

- 送信エラーの確認です。

PCへデータ送信中にエラーが発生しました。PC受信ソフト、通信ユニット、電源、ケーブルなどを確認して、再度データ送信を行ってください。

1 キーを押します。【(1)メニュー画面】に戻ります。

1 キー:【(1)メニュー画面】に戻ります。

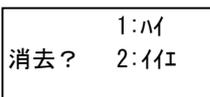
4-4. データ消去

(1) メニュー画面



- 「消去」を選択し、**トリガ**キーを押します。【(2)消去実行確認画面】へ移ります。

(2) 消去実行確認画面



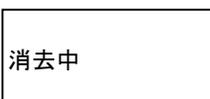
- データの消去の実行確認です。

データを消去する場合、**1**キーを押します。【(3)データ消去画面】へ移ります。

1キー:【(3)データ消去画面】へ移ります。

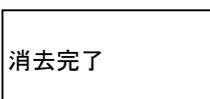
2キー: データ消去を中止して【(1)メニュー画面】に戻ります。

(3) データ消去画面



- データを消去します。

収集データを消去します。消去が完了すると【(1)メニュー画面】に戻ります。



4-5. 設定

(1) メニュー画面



入力 送信 消去

- [2]キーを1秒以上長押しします。【(2)設定メニュー画面】へ移ります。

(2) 設定メニュー画面



設定 ブザー

- 設定メニュー画面です。

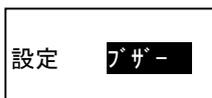
目的の設定を[1]キー、[2]キーで選択(反転表示)し、[トリガ]キーを押します。

- 「ブザー」 …… ブザー音設定へ移ります。
- 「項目」 …… 項目設定へ移ります。
- 「バイブ」 …… バイブレータの設定です。
- 「ライト」 …… バックライトの設定です。
- 「電源オフ」 …… 自働電源オフ時間の設定です。

[1]キー:1秒以上長押しすると【(1)メニュー画面】に戻ります。

4-5-1. ブザー設定

(1) 設定メニュー画面



- 「ブザー」を選択し、**[トリガ]**キーを押します。【(2)ブザー音設定画面】へ移ります。

(2) ブザー音設定画面



- ブザーの音量の設定です。

目的の設定値を**[2]**キーで選択(反転表示)し、**[トリガ]**キーを押します。
【(1)設定メニュー画面】に戻ります。

[1]キー: 1秒以上長押しすると【(1)設定メニュー画面】に戻ります。

※初期値は「大」です。

※本設定が「大」に設定されていても、電池の残量が少なくなると自動的にO/Sでブザー音を省電力のため小さくします。

4-5-2. 項目設定

(1) 設定メニュー画面



- 「コウモク」を選択し、**トリガ**キーを押します。【(2)最小入力桁数設定画面】へ移ります。

※ハンディターミナル内にデータが収集保留されている場合、項目設定は選択できません。データをPCへ送信し消去するか、消去処理でデータを消去してから再度項目設定を選択してください。

(2) 最小入力桁数設定画面



- バーコードの最小入力桁数の設定です。

現在の設定値を表示しています。変更する場合は1桁ずつ**2**キーを押してカウントアップして、**トリガ**キーで確定します。変更しない場合は、**トリガ**キーのみ押します。【(3)最大入力桁数設定画面】へ移ります。

1キー: 1秒以上長押しすると【(1)設定メニュー画面】に戻ります。

※初期値は「01」です。
※入力範囲は「01」～「60」です。

(3) 最大入力桁数設定画面



- バーコードの最大入力桁数の設定です。

現在の設定値を表示しています。変更する場合は1桁ずつ**2**キーを押してカウントアップして、**トリガ**キーで確定します。変更しない場合は、**トリガ**キーのみ押します。【(4)入力タイプ設定画面】へ移ります。

1キー: 1秒以上長押しすると【(1)設定メニュー画面】に戻ります。

※初期値は「60」です。
※入力範囲は「01」～「60」です。

(4) 入力タイプ設定画面



- バーコードデータの入力タイプの設定です。

現在の設定値を表示しています。変更する場合は**2**キーを押し、目的の値を表示させ**トリガ**キーで確定します。変更しない場合は、**トリガ**キーのみ押します。【(5)バーコード種類設定画面】へ移ります。

1キー: 1秒以上長押しすると【(1)設定メニュー画面】に戻ります。

※初期値は「英数字」です。
※設定可能値は「英数字」「数字」です。

英数字…アルファベット、数字、記号入力可能。左詰め右空きスペース埋め。
数字 …数字のみ入力可。右詰め左空きゼロ埋め。

(5) バーコード種類設定画面

バーコード
NW7, C39, C128

- 読取るバーコードの種類の設定です。

現在の設定値を表示しています。変更する場合は「2」キーを押し、目的の値を表示させ「トリガ」キーで確定します。変更しない場合は、「トリガ」キーのみ押します。【(6)2度読みチェック設定画面】へ移ります。

「1」キー: 1秒以上長押しすると【(1)設定メニュー画面】に戻ります。

※初期値は「NW7,C39,C128」です。

※設定可能値は「NW7,C39,C128」「ITF,C128」「NW7st/spトル」
「NW7 ナシ,C39,C128」「NW7 ナシ,C39 ナシ,C128」
「JAN,EAN,UPC,ITF」「JAN,EAN,UPC」「CODE128」「CODE39」
「CODABAR(NW-7)」「ITF」です。

※NW7 ナシは NW7 のスタートストップ文字を取り除き読み込みます。

※C39 ナシは CODE39 のモジュラス 43 チェックを行いモジュラス文字を取り除き読み込みます。

(6) 2度読みチェック設定画面

2度読みチェック なし

- 2度読みチェックの設定です。

現在の設定値を表示しています。変更する場合は「2」キーを押し、目的の値を表示させ「トリガ」キーで確定します。変更しない場合は、「トリガ」キーのみ押します。【(7)日付付加設定画面】へ移ります。

「1」キー: 1秒以上長押しすると【(1)設定メニュー画面】に戻ります。

※初期値は「しない」です。

※設定可能値は「しない」「する」「確認」です。

しない・・・チェックしません。

する・・・チェックし同一データが存在する場合、入力エラーとします。

確認・・・チェックし同一データが存在する場合、確認画面を表示し、キャンセルするかデータとして保存するか選択します。

(7) 日付付加設定画面

日付付加 なし

- データにシステム時計の日付を付加するかの設定です。

現在の設定値を表示しています。変更する場合は「2」キーを押し、目的の値を表示させ「トリガ」キーで確定します。変更しない場合は、「トリガ」キーのみ押します。【(8)時刻付加設定画面】へ移ります。

「1」キー: 1秒以上長押しすると【(1)設定メニュー画面】に戻ります。

※初期値は「なし」です。

※設定可能値は「なし」「あり」です。

日付データは、西暦「YYYYMMDD」形式です。

(8) 時刻付加設定画面

時刻付加 **なし**

- データにシステム時計の時刻を付加するかの設定です。

現在の設定値を表示しています。変更する場合は[2]キーを押し、目的の値を表示させ[トリガ]キーで確定します。変更しない場合は、[トリガ]キーのみ押します。【(9)ID付加設定画面】へ移ります。

[1]キー: 1秒以上長押しすると【(1)設定メニュー画面】に戻ります。

※初期値は「なし」です。
※設定可能値は「なし」「あり」です。

時刻データは、24時間制「HHMMSS」形式です。

(9) ID付加設定画面

ID付加 **なし**

- データにID(端末識別番号)を付加するかの設定です。

現在の設定値を表示しています。変更する場合は[2]キーを押し、目的の値を表示させ[トリガ]キーで確定します。変更しない場合は、[トリガ]キーのみ押します。【(10)ファイルタイプ設定画面】へ移ります。

[1]キー: 1秒以上長押しすると【(1)設定メニュー画面】に戻ります。

※初期値は「なし」です。
※設定可能値は「なし」「あり」です。

IDデータの範囲は、「000」～「999」です。

(10) ファイルタイプ設定画面

ファイルタイプ **TXT**

- データファイルのタイプの設定です。

現在の設定値を表示しています。変更する場合は[2]キーを押し、目的の値を表示させ[トリガ]キーで確定します。変更しない場合は、[トリガ]キーのみ押します。【(11)データ表示設定画面】へ移ります。

[1]キー: 1秒以上長押しすると【(1)設定メニュー画面】に戻ります。

※初期値は「TXT」です。
※設定可能値は「TXT」「CSV」「DAT」です。

TXT ……ファイル名 SPDATA1. TXT
レコード長62バイト+CRLF/126バイト+CRLF
固定長のテキストファイル
CSV ……ファイル名 SPDATA1. CSV
レコード長62バイト+CRLF/126バイト+CRLF
カンマ区切り固定長のテキスト形式のファイルです。
DAT ……ファイル名 SPDATA. DAT
レコード長62バイト+CRLF/126バイト+CRLF
固定長のテキストファイル

(11) データ表示設定画面

データ表示 **前**

- バーコードデータの画面表示の設定です。

現在の設定値を表示しています。変更する場合は **2** キーを押し、目的の値を表示させ **トリガ** キーで確定します。変更しない場合は、**トリガ** キーのみ押します。【(12)データ消去設定画面】へ移ります。

1 キー: 1秒以上長押しすると【(1)設定メニュー画面】に戻ります。

※初期値は「前」です。

※設定可能値は「前」「後」です。

前 ……バーコードデータの先頭15桁を画面に表示します。

後 ……バーコードデータの後ろ15桁を画面に表示します。

(12) データ消去設定画面

データ消去 **手動**

- 送信完了後のデータ消去方法の設定です。

現在の設定値を表示しています。変更する場合は **2** キーを押し、目的の値を表示させ **トリガ** キーで確定します。変更しない場合は、**トリガ** キーのみ押します。【(13)項目設定登録】へ移ります。

1 キー: 1秒以上長押しすると【(1)設定メニュー画面】に戻ります。

※初期値は「手動」です。

※設定可能値は「手動」「自動」です。

手動 ……送信完了後、消去実行確認画面を表示し、消去を選択します。

自動 ……送信完了で自動的にデータを消去します。

(13) 項目設定登録



- 設定された項目データの登録です。

設定された項目データを登録し、【(1)設定メニュー画面】に戻ります。

4-7. システム時計設定

(1) 電源オフ状態



- [1]キーを押したまま電源キーを押します。【(2)システムメニュー画面】へ移ります。

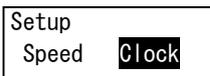
(2) システムメニュー画面



- システムメニュー画面です。

[1]キーを押し、「Setup」を反転状態にして、[トリガ]キーを押します。【(3)セットアップメニュー画面】へ移ります。

(3) セットアップメニュー画面



- セットアップメニュー画面です。

[1]キーを押し、「Clock」を反転状態にして、[トリガ]キーを押します。【(4)年設定画面】へ移ります。

(4) 「年」設定画面



- 「年」の設定です。

[1]キーを押し、「年」をカウントアップして、[トリガ]キーを押します。【(5)月設定画面】へ移ります。

(5) 「月」設定画面



- 「月」の設定です。

[1]キーを押し、「月」をカウントアップして、[トリガ]キーを押します。【(6)日設定画面】へ移ります。

(6) 「日」設定画面



- 「日」の設定です。

[1]キーを押し、「日」をカウントアップして、[トリガ]キーを押します。【(7)時設定画面】へ移ります。

(7) 「時」設定画面



- 「時」の設定です。

[1]キーを押し、「時」をカウントアップして、[トリガ]キーを押します。【(8)分設定画面】へ移ります。

(8) 「分」設定画面



- 「分」の設定です。

[1]キーを押し、「分」をカウントアップして、[トリガ]キーを押します。【(9)登録】へ移ります。

(9) 登録



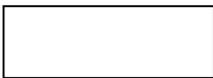
- 設定値の登録です。

設定された値にシステム時計を設定します。【(3)セットアップメニュー画面】に戻ります。

※アプリケーションを起動する場合は、一度電源をオフにして再度電源をオンにすれば起動します。

4-8. ID (端末識別番号) 設定

(1) 電源オフ状態



- **1** キーを押したまま電源キーを押します。【(2)システムメニュー画面】へ移ります。

(2) システムメニュー画面



- システムメニュー画面です。

1 キーを押し、「Install」を反転状態にして、**TRG** キーを押します。【(3)インストールメニュー画面】へ移ります。

(3) インストールメニュー画面



- インストールメニュー画面です。

1 キーを押し、「ID Set」を反転状態にして、**TRG** キーを押します。【(4)ID設定画面】へ移ります。

(4) ID設定画面



- IDの設定です。

1 キーを押し、反転表示されている位置をカウントアップして、**TRG** キーを押します。6桁すべて同じ手順で設定します。【(5)登録】へ移ります。

※ IDは6桁の下3桁が有効です。

(5) 登録



- 設定値の登録です。

設定された値にシステム時計を設定します。【(3)インストールメニュー画面】に戻ります。

※アプリケーションを起動する場合は、一度電源をオフにして再度電源をオンにすれば起動します。

5. 検品処理

5-1. メニュー

(1) メニュー画面



● 作業の選択です。

[1]キー、[2]キーで選択(反転表示)し、[トリガ]キーを押します。

1対1・・・「1対1 一致チェック」へ移ります。

1対n・・・「1対n 一致チェック」へ移ります。

[2]キー:1秒以上長押しすると「設定」へ移ります。



※設定で書き込みを「する」に設定した場合の画面です。「送信」が追加されます。

Cキーを1秒以上長押しすると「データ消去」へ移ります。

<初期設定値>

※インストール後は下記入力条件に初期設定されます。変更される場合は「設定」を選択し変更して下さい。
※設定を変更された場合は、必ず設定変更内容を控えて下さい。

マスターバーコード

最小桁数・・・ 1桁
最大桁数・・・ 40桁
バーコード・・・ NW-7(CODARBAR), CODE39, CODE128
データスペース・・・ 取らない

チェックバーコード

最小桁数・・・ 1桁
最大桁数・・・ 40桁
バーコード・・・ NW-7(CODARBAR), CODE39, CODE128
データスペース・・・ 取らない

マスターバーコードのチェック開始桁・・・ 1桁目から
チェックバーコードのチェック開始桁・・・ 1桁目から
チェック桁数・・・ 40桁
チェックOK時・・・ 止めない
チェックNG時・・・ 止める
NG時戻り先・・・ 1のマスター入力に戻る(1対1の場合に有効)
戻り先・・・ 1対1の時は1マスターに、1対nの時は2チェックに戻る ※固定

書き込み・・・ しない
ファイルタイプ・・・ TXT
データ消去・・・ 手動

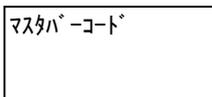
5-2. 1対1 一致チェック

(1) メニュー画面



- 「1対1」を選択し、**トリガ**キーを押します。【(2)マスターバーコード入力画面】へ移ります。

(2) マスターバーコード入力画面

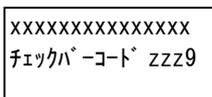


- チェック元マスターバーコードの入力です。

トリガキーを押してバーコードを読み取ります。【(3)チェックバーコード入力画面】へ移ります。

1キー: 1秒以上長押しすると【(1)メニュー画面】に戻ります。

(3) チェックバーコード入力画面



- チェックバーコードの入力です。

トリガキーを押してバーコードを読み取ります。【(4)一致チェック】へ移ります。

1キー: 1秒以上長押しすると【(1)メニュー画面】に戻ります。

2キー: 【(2)マスターバーコード入力画面】に戻ります。

※画面1行目は、マスターバーコードデータの表示です。

※画面2行目 □ は、電池残量表示です。

※画面2行目 zzz9 はチェック件数の表示です。マスターが変わるとリセットされます。

(4) 一致チェック



- マスターバーコードとチェックバーコードの一致チェックです。

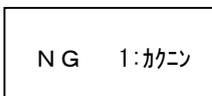
入力されたマスターバーコードとチェックバーコードのデータが一致しているかチェックします。

チェックOK



- 一致チェック結果がOKの場合、画面に「OK」を約1秒間表示して、【(2)マスターバーコード入力画面】に戻ります。

チェックNG



- 一致チェック結果がNGの場合、画面に「NG」を表示し、確認待ちとなります。

1キー: 【(2)マスターバーコード入力画面】に戻ります。

5-3. 1対n 一致チェック

(1) メニュー画面

1対1 1対n

- 「1対n」を選択し、**トリガ**キーを押します。【(2)マスターバーコード入力画面】へ移ります。

(2) マスターバーコード入力画面

マスターバーコード

- チェック元マスターバーコードの入力です。
トリガキーを押しバーコードを読み取ります。【(3)チェックバーコード入力画面】へ移ります。

1キー: 1秒以上長押しすると【(1)メニュー画面】に戻ります。

(3) チェックバーコード入力画面

XXXXXXXXXXXXXXXXXX チェックバーコード

- チェックバーコードの入力です。
トリガキーを押しバーコードを読み取ります。【(4)一致チェック】へ移ります。

1キー: 1秒以上長押しすると【(1)メニュー画面】に戻ります。

2キー: 【(2)マスターバーコード入力画面】に戻ります。

※画面1行目は、マスターバーコードデータの表示です。

(4) 一致チェック

--

- マスターバーコードとチェックバーコードの一致チェックです。
入力されたマスターバーコードとチェックバーコードのデータが一致しているかチェックします。

チェックOK

OK

- 一致チェック結果がOKの場合、画面に「OK」を約1秒間表示して、【(3)チェックバーコード入力画面】に戻ります。

チェックNG

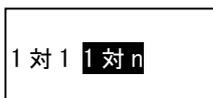
NG 1:カニン

- 一致チェック結果がNGの場合、画面に「NG」を表示し、確認待ちとなります。

1キー: 【(3)チェックバーコード入力画面】に戻ります。

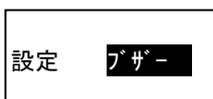
5-4. 設定

(1) メニュー画面



- [2]キーを1秒以上長押しします。【(2)設定メニュー画面】へ移ります。

(2) 設定メニュー画面



- 設定メニュー画面です。

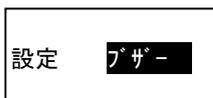
目的の設定を[1]キー、[2]キーで選択(反転表示)し、[トリガ]キーを押します。

- 「ブザー」 …… ブザー音設定へ移ります。
- 「項目」 …… 項目設定へ移ります。
- 「バイブ」 …… バイブレータの設定です。
- 「ライト」 …… バックライトの設定です。
- 「電源オフ」 …… 自働電源オフ時間の設定です。

[1]キー: 1秒以上長押しすると【(1)メニュー画面】に戻ります。

5-4-1. ブザー音設定

(1) 設定メニュー画面



- 「ブザー」を選択し、**[トリガ]**キーを押します。【(2)ブザー音設定画面】へ移ります。

(2) ブザー音設定画面



- ブザーの音量の設定です。

目的の設定値を**[2]**キーで選択(反転表示)し、**[トリガ]**キーを押します。
【(1)設定メニュー画面】に戻ります。

[1]キー: 1秒以上長押しすると【(1)設定メニュー画面】に戻ります。

※初期値は「大」です。

※本設定が「大」に設定されていても、電池の残量が少なくなると自動的にO/Sでブザー音を省電力のため小さくします。

5-4-2. 項目設定

(1) 設定メニュー画面



- 「コウモク」を選択し、**[トリガ]**キーを押します。【(2)最小入力桁数設定画面】へ移ります。

(2) 最小入力桁数設定画面 (マスターバーコード)



- マスターバーコードの最小入力桁数の設定です。

現在の設定値を表示しています。変更する場合は1桁ずつ**[2]**キーを押してカウントアップして、**[トリガ]**キーで確定します。変更しない場合は、**[トリガ]**キーのみ押します。【(3)最大入力桁数設定画面】へ移ります。

[1]キー: 1秒以上長押しすると【(1)設定メニュー画面】に戻ります。

※初期値は「01」です。
※入力範囲は「01」～「40」です。

(3) 最大入力桁数設定画面 (マスターバーコード)



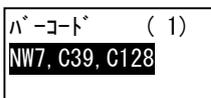
- マスターバーコードの最大入力桁数の設定です。

現在の設定値を表示しています。変更する場合は1桁ずつ**[2]**キーを押してカウントアップして、**[トリガ]**キーで確定します。変更しない場合は、**[トリガ]**キーのみ押します。【(4)バーコード種類設定画面】へ移ります。

[1]キー: 1秒以上長押しすると【(1)設定メニュー画面】に戻ります。

※初期値は「40」です。
※入力範囲は「01」～「40」です。

(4) バーコード種類設定画面 (マスターバーコード)



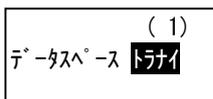
- 読取るマスターバーコードの種類の設定です。

現在の設定値を表示しています。変更する場合は**[2]**キーを押し、目的の値を表示させ**[トリガ]**キーで確定します。変更しない場合は、**[トリガ]**キーのみ押します。【(4a)データスペース設定画面】へ移ります。

[1]キー: 1秒以上長押しすると【(1)設定メニュー画面】に戻ります。

※初期値は「NW7,C39,C128」です。
※設定可能値は「NW7,C39,C128」「ITF,C128」「NW7st/spトル」
「JAN,EAN,UPC,ITF」「JAN,EAN,UPC」「CODE128」「CODE39」
「CODABAR(NW-7)」「ITF」です。

(4a) データスペース設定画面 (マスターバーコード)



- バーコード内のスペースを取り込まなくするかの設定です。

現在の設定値を表示しています。変更する場合は[2]キーを押し、目的の値を表示させ[トリガ]キーで確定します。変更しない場合は、[トリガ]キーのみ押します。【(5)最小入力桁数設定画面】へ移ります。

[1]キー: 1秒以上長押しすると【(1)設定メニュー画面】に戻ります。

※初期値は「取らない」です。
※設定可能値は「取らない」「取る」です。

※「取る」に設定した場合、読み取ったバーコードデータ内のスペース文字を取り除きます。

(5) 最小入力桁数設定画面 (チェックバーコード)



- チェックバーコードの最小入力桁数の設定です。

現在の設定値を表示しています。変更する場合は1桁づつ[2]キーを押してカウントアップして、[トリガ]キーで確定します。変更しない場合は、[トリガ]キーのみ押します。【(6)最大入力桁数設定画面】へ移ります。

[1]キー: 1秒以上長押しすると【(1)設定メニュー画面】に戻ります。

※初期値は「01」です。
※入力範囲は「01」～「40」です。

(6) 最大入力桁数設定画面 (チェックバーコード)



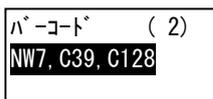
- マスターバーコードの最大入力桁数の設定です。

現在の設定値を表示しています。変更する場合は1桁づつ[2]キーを押してカウントアップして、[トリガ]キーで確定します。変更しない場合は、[トリガ]キーのみ押します。【(7)バーコード種類設定画面】へ移ります。

[1]キー: 1秒以上長押しすると【(1)設定メニュー画面】に戻ります。

※初期値は「40」です。
※入力範囲は「01」～「40」です。

(7) バーコード種類設定画面 (チェックバーコード)



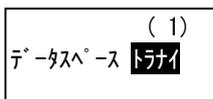
- 読取るマスターバーコードの種類の設定です。

現在の設定値を表示しています。変更する場合は[2]キーを押し、目的の値を表示させ[トリガ]キーで確定します。変更しない場合は、[トリガ]キーのみ押します。【(7a)データスペース設定画面】へ移ります。

[1]キー: 1秒以上長押しすると【(1)設定メニュー画面】に戻ります。

※初期値は「NW7,C39,C128」です。
※設定可能値は「NW7,C39,C128」「ITF,C128」「NW7st/spトル」
「JAN,EAN,UPC,ITF」「JAN,EAN,UPC」「CODE128」「CODE39」
「CODABAR(NW-7)」「ITF」です。

(7a) データスペース設定画面 (チェックバーコード)



- バーコード内のスペースを取り込まなくするかの設定です。

現在の設定値を表示しています。変更する場合は「2」キーを押し、目的の値を表示させ「トリガ」キーで確定します。変更しない場合は、「トリガ」キーのみ押します。【(8)チェック開始桁設定画面】へ移ります。

「1」キー: 1秒以上長押しすると【(1)設定メニュー画面】に戻ります。

※初期値は「取らない」です。

※設定可能値は「取らない」「取る」です。

※「取る」に設定した場合、読み取ったバーコードデータ内のスペース文字を取り除きます。

(8) チェック開始桁設定画面 (マスターバーコード)



- マスターバーコードのチェック開始桁位置の設定です。

現在の設定値を表示しています。変更する場合は1桁ずつ「2」キーを押してカウントアップして、「トリガ」キーで確定します。変更しない場合は、「トリガ」キーのみ押します。【(9)チェック桁数設定画面】へ移ります。

「1」キー: 1秒以上長押しすると【(1)設定メニュー画面】に戻ります。

※初期値は「01」です。

※入力範囲は「01」～「40」です。

(9) チェック桁数設定画面



- マスターバーコードとチェックバーコードのチェックする桁数の設定です。

現在の設定値を表示しています。変更する場合は1桁ずつ「2」キーを押してカウントアップして、「トリガ」キーで確定します。変更しない場合は、「トリガ」キーのみ押します。【(10)チェック開始桁設定画面】へ移ります。

「1」キー: 1秒以上長押しすると【(1)設定メニュー画面】に戻ります。

※初期値は「40」です。

※入力範囲は「01」～「40」です。

※チェック桁数に「99」をセットすると先頭から 8桁と12桁目でチェックします。

※チェック桁数に「98」をセットすると先頭から 9桁と12桁目でチェックします。

(10) チェック開始桁設定画面 (チェックバーコード)



- チェックバーコードのチェック開始桁位置の設定です。

現在の設定値を表示しています。変更する場合は1桁ずつ「2」キーを押してカウントアップして、「トリガ」キーで確定します。変更しない場合は、「トリガ」キーのみ押します。【(11)チェックOK時設定画面】へ移ります。

「1」キー: 1秒以上長押しすると【(1)設定メニュー画面】に戻ります。

※初期値は「01」です。

※入力範囲は「01」～「40」です。

(11) チェックOK時設定画面

チェックOK時 **止めない**

- 一致チェックの結果OKの場合、止めて確認画面を表示させるかの設定です。

現在の設定値を表示しています。変更する場合は **2** キーを押し、目的の値を表示させ **トリガ** キーで確定します。変更しない場合は、**トリガ** キーのみ押します。【(12)チェックNG時設定画面】へ移ります。

1 キー: 1秒以上長押しすると【(1)設定メニュー画面】に戻ります。

※初期値は「止めない」です。

※設定可能値は「止める」「止めない」です。

(12) チェックNG時設定画面

チェックNG時 **止める**

- 一致チェックの結果NGの場合、止めて確認画面を表示させるかの設定です。

現在の設定値を表示しています。変更する場合は **2** キーを押し、目的の値を表示させ **トリガ** キーで確定します。変更しない場合は、**トリガ** キーのみ押します。【(13)チェックNG時戻り先設定画面】へ移ります。

1 キー: 1秒以上長押しすると【(1)設定メニュー画面】に戻ります。

※初期値は「止める」です。

※設定可能値は「止める」「止めない」です。

(13) チェックNG時戻り先設定画面

NG時戻り先 **01**

- 一致チェックの結果NGの場合の戻り先の設定です。

現在の設定値を表示しています。変更する場合は1桁ずつ **2** キーを押し、カウントアップして、**トリガ** キーで確定します。変更しない場合は、**トリガ** キーのみ押します。【(14)書き込み設定画面】へ移ります。

1 キー: 1秒以上長押しすると【(1)設定メニュー画面】に戻ります。

※初期値は「01」です。

※入力範囲は「01」～「02」です。 01:マスターバーコード入力 02:チェックバーコード入力

※1対1一致チェックの場合にのみ有効です。

(14) 書き込み設定画面

書き込み **しない**

- 一致チェック結果データのファイルへの書き込みの設定です。

現在の設定値を表示しています。変更する場合は **2** キーを押し、目的の値を表示させ **トリガ** キーで確定します。変更しない場合は、**トリガ** キーのみ押します。【(15)ファイルタイプ先設定画面】へ移ります。

1 キー: 1秒以上長押しすると【(1)設定メニュー画面】に戻ります。

※初期値は「しない」です。

※設定可能値は「しない」「する」です。

(15) ファイルタイプ設定画面



- データファイルのタイプの設定です。

現在の設定値を表示しています。変更する場合は「2」キーを押し、目的の値を表示させ「トリガ」キーで確定します。変更しない場合は、「トリガ」キーのみ押します。【(16)データ消去設定画面】へ移ります。

「1」キー: 1秒以上長押しすると【(1)設定メニュー画面】に戻ります。

※初期値は「TXT」です。

※設定可能値は「TXT」「CSV」「DAT」です。

TXT …ファイル名 SPDATA2. TXT
レコード長62バイト+CRLF/126バイト+CRLF
固定長のテキストファイル
CSV …ファイル名 SPDATA2. CSV
レコード長62バイト+CRLF/126バイト+CRLF
カンマ区切り固定長のテキスト形式のファイルです。
DAT …ファイル名 SPDATA2. DAT
レコード長62バイト+CRLF/126バイト+CRLF
固定長のテキストファイル

(16) データ消去設定画面



- 送信完了後のデータ消去方法の設定です。

現在の設定値を表示しています。変更する場合は「2」キーを押し、目的の値を表示させ「トリガ」キーで確定します。変更しない場合は、「トリガ」キーのみ押します。【(17)項目設定登録】へ移ります。

「1」キー: 1秒以上長押しすると【(1)設定メニュー画面】に戻ります。

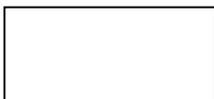
※初期値は「手動」です。

※設定可能値は「手動」「自動」です。

手動 …送信完了後、消去実行確認画面を表示し、消去を選択します。

自動 …送信完了で自動的にデータを消去します。

(17) 項目設定登録



- 設定された項目データの登録です。

設定された項目データを登録し、【(1)設定メニュー画面】に戻ります。

5-6. システム時計設定

(1) 電源オフ状態



- [1]キーを押したまま電源キーを押します。【(2)システムメニュー画面】へ移ります。

(2) システムメニュー画面



- システムメニュー画面です。

[1]キーを押し、「Setup」を反転状態にして、[トリガ]キーを押します。【(3)セットアップメニュー画面】へ移ります。

(3) セットアップメニュー画面



- セットアップメニュー画面です。

[1]キーを押し、「Clock」を反転状態にして、[トリガ]キーを押します。【(4)年設定画面】へ移ります。

(4) 「年」設定画面



- 「年」の設定です。

[1]キーを押し、「年」をカウントアップして、[トリガ]キーを押します。【(5)月設定画面】へ移ります。

(5) 「月」設定画面



- 「月」の設定です。

[1]キーを押し、「月」をカウントアップして、[トリガ]キーを押します。【(6)日設定画面】へ移ります。

(6) 「日」設定画面



- 「日」の設定です。

[1]キーを押し、「日」をカウントアップして、[トリガ]キーを押します。【(7)時設定画面】へ移ります。

(7) 「時」設定画面



- 「時」の設定です。

[1]キーを押し、「時」をカウントアップして、[トリガ]キーを押します。【(8)分設定画面】へ移ります。

(8) 「分」設定画面



- 「分」の設定です。

[1]キーを押し、「分」をカウントアップして、[トリガ]キーを押します。【(9)登録】へ移ります。

(9) 登録



- 設定値の登録です。

設定された値にシステム時計を設定します。【(3)セットアップメニュー画面】に戻ります。

※アプリケーションを起動する場合は、一度電源をオフにして再度電源をオンにすれば起動します。

6. 読取処理

(1) バーコード読取表示画面

読取 2:コード 切りか

- バーコードの読み取り表示です。

トリガキーを押してバーコードを読み取ります。読み取ったデータを画面に表示します。

XXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXX

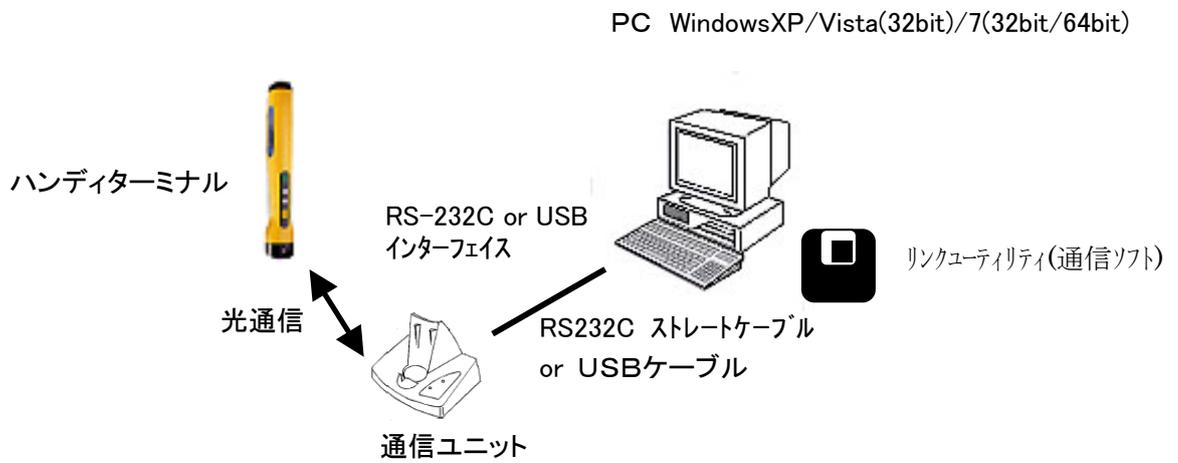
2キー: 読み取るバーコードの種類を切り換えます。

※表示は最大30桁のデータ表示が可能です。

※メニューから最初の状態では「JAN,EAN,UPC,ITF」が読み取り可能です。

2キーで「JAN,EAN,UPC,ITF」→「NW7,C128,C39」→「ADD 5」に切り換えます。ADD5はJANアドオン5桁のバーコード読み取りです。

7. システム構成



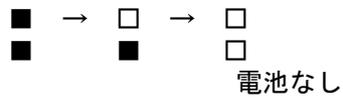
※データ収集処理に必要なシステム構成です。検品、読み取りの場合はハンディターミナル本体のみで使用可能です。

8. その他（機能、メッセージ）

(1) ローバッテリー

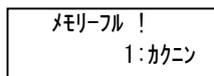


- 動作中に電池電圧が低下した場合、電池マークの表示が□になります。



※速やかに電源を切り、電池を交換してください。

(2) メモリーフル



- ハンディ内メモリエリアがいっぱいになり書き込みできなくなるとブザーが鳴り、左記画面が表示されます。確認して、1キーを押します。

※ 速やかにデータ送信、または消去してください。

9. 注意事項

(1) 電池の交換

表示部（LCD）の電池マークが電池なしの表示になりましたら、速やかに電池の交換または充電を行ってください。交換の際は、必ずハンディターミナルの電源をOFFにしてから行ってください。

- ・電池を本体から取り外した状態で長時間放置しないでください。長時間放置しますと、データやプログラムで使用するメモリの内容が消去されてしまいます。
- ・電池の交換は、必ず電源をOFFにしてから行ってください。電源がONのまま電池を取り外しますと、メモリ内のデータが消去されてしまう場合があります。
- ・電池は必ず単三形アルカリ乾電池をご使用ください。その他の電池はご使用にならないでください。

※電池が少なくなると自動的にブザー音を小さくします。ブザー音が小さくなったら電池交換の時期と判断してください。ブザー音が小さいまま使用しますと、次はレーザが照射されなくなります。

(2) 電池について

電池は出来るだけ下記の推奨電池をご使用ください。

単三アルカリ乾電池

推奨品 松下電池工業製 パナソニックブランド
LR6（G） アルカリ乾電池

単三充電電池

推奨品 松下電池工業製 パナソニックブランド
HHR-3GPS 単3型ニッケル水素電池
BQ-370 充電器

（ハンディターミナル側のSW設定変更が必要です。取扱説明書をご参照下さい。）

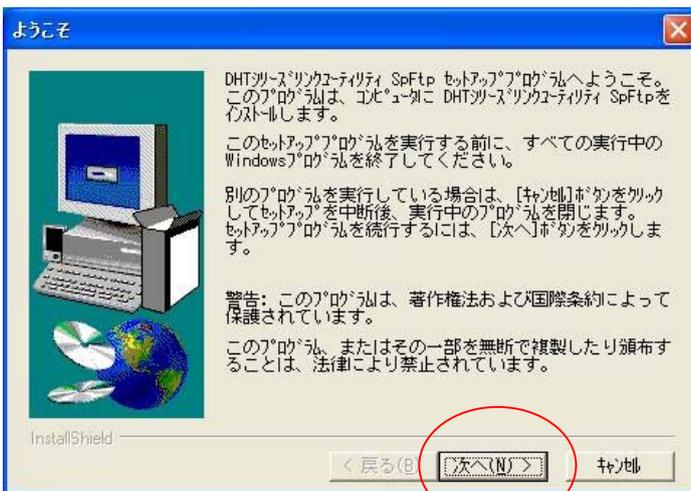
- ### (3) レーザ照射窓を硬い布などで清掃しないで下さい。窓にキズが付きますと、読み取りが悪くなります。また薬品は使用しないでください。

10. 通信ソフト SpFtp のインストール

10-1. 通信ソフトのインストール

DCC に付属の「光通信クレードル ユーティリティプログラムインストール」CD 内の SpFtp フォルダより「SETUP.EXE」をクリックします。

<注意> 転送ソフトのインストーラは Windows7 (64bit) には対応しておりません。Windows7 (64bit) でご使用場合はインストーラ (SETUP.EXE) を使用せずに CD 内 SpFtp フォルダをお使いの PC のハードディスクにコピーして、フォルダ内 通信ソフト SpFtp.exe を起動してご使用ください。



次へをクリック。



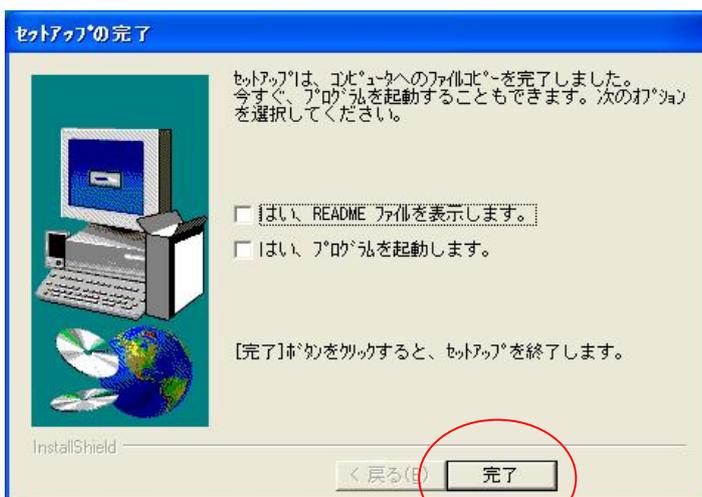
次へをクリック。



次へをクリック。



次へをクリック。



完了をクリック。

以上で通信ソフトのインストールは完了です。

※「収集」処理はデータ送信時ハンディターミナル側はマスターモードでPCに接続しデータを転送します。PC側でSPFTP.DLLを使用し、VBなどでソフト開発を行う場合は、PC側をスレーブモードで動作させてください。

10-2. 通信ソフトの設定

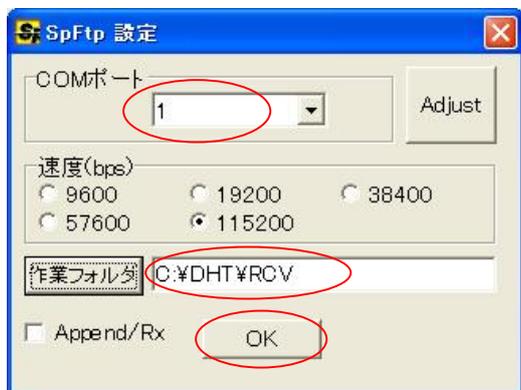
(1) スタートメニューから通信ソフト「DHTシリーズリコネクトSpFtp」を起動します。



(2) 通信ソフトの「設定」ボタンをクリックします。



(3) 設定画面です。COMポートと作業フォルダを設定し、「OK」ボタンを押します。



11. 通信ソフトの操作

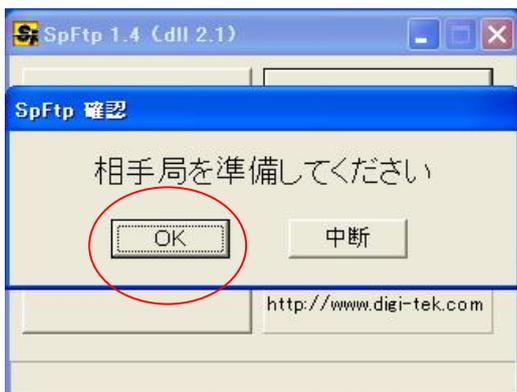
11-1. データ受信

(1) 通信ソフト「DHTシリーズリンクユーティリティ SpFtp」を起動します。

(2) 通信ソフトの「受信」ボタンをクリックします。



(3) ハンディターミナル側の送信を開始にして、「OK」ボタンをクリックします。



(4) 受信中の画面です。



受信中は黄色になります。

(5) 受信が完了すると設定された作業フォルダにデータファイルが作成されています。

MEMO

株式会社アイテックス

〒111-0041 台東区元浅草 1-6-13 元浅草 MNビル 6F

TEL : 03-5246-9420 FAX : 03-5246-9421

www.j-itecs.co.jp